

《日本テクノ(株)「電力コンサルティング」導入レポート》 「HOTEL A&B RESORT」—— スタッフの節電意識が高まりコスト削減を実現

◆使用電力量の“見える化”で節電

東京電力の電気料金値上げもあり、節電対策に取り組むホテルから注目が高まっているのが、日本テクノ(株)が実施する「電力コンサルティング」だ。

ホテルの使用電力量を“見える化”し、そのデータ分析をもとに、無駄な使用電力を抑えて節電する、という仕組みだ。「スマートメーター」という30分単位で使用電力量を表示する装置を設置(時計タイプの「スマートクロック」もある)し、曜日・時間帯ごとに節電可能な箇所をチェックして節電方法を決定、スマートメーターに30分単位で目標の使用電力量を設定する。スマートメーターはリアルタイムで目標値に対する使用電力量の%を色や絵柄でわかりやすく表示し、オーバー時にはアラームで知らせる。つまり“いつ”“何を”“どうすればよいか”、最適な節電の行動とタイミングがわかる」システムなのである。

この電力コンサルティングは、ホテルはもちろん幅広い分野ですでに3万8,000件の導入実績がある。電気料金の削減効果は平均で11.3%(導入100社の調査結果)とのデータがあり、大きな節電効果が実証されている。ちなみに、この電力コンサルティングの導入費用や管理費用は、施設規模によって異なるので、お問合せいただきたいとしている。

◆「HOTEL A&B RESORT」の活用法と効果

「HOTEL A&B RESORT」は、千葉・松戸に1982年に開業した20室のホ



「HOTEL A&B RESORT」



「スマートメーター」はフロントに設置



スタッフ全員が見やすい場所に設置した「スマートクロック」と高井佐智生専務

テル。2006年にリニューアルし、駅至近の好立地に加え、利用者に親近感をもたれるホテルづくりやサービスで長期にわたり利用者から支持されてきたホテルだ。

以前は、節電対策はまったく意識していなかったというが、節電意識が社会的に高まり、同時に漏電などへの対策も考え、電気を一括管理してくれる“電気町の医者”的な業者がほしいと思いはじめたときに、日本テクノの存在を知り、「キュービクル保安管理」を依頼。これで点検コストが従来の1/5に削減されたという。合わせて節電にも取り組むべく、今年3月末に「電力コンサルティング」も契約し、「スマートメーター」と「スマートクロック」の両方を導入。これにより、最大デマンド値が47kWから40kWに下がり、5～10月合計で使用電力量は前年の105,676kWhから85,602kWhへ19.0%の削減となった。

同ホテルを運営する東部興業(株)専務取締役・高井佐智生氏は「導入時に、日本テクノの担当者がホテルを訪れ、

2日に分けて全スタッフに電気料金の仕組みと節電方法を説明。これにより、スタッフがスムーズに節電対策に取り組めるようになった」という。

「電気見える化や、電力の使用状況のデータを見ることによって、管理者の指示なしに、各スタッフが自ら節電に取り組むようになった」と高井専務は評価。同時に「無駄な電力を削減して浮いたコストを、サービスの強化やスタッフのモチベーションアップのために使っていきたい」と語る。

「HOTEL A&B RESORT データ」

- ◇導入：2012年3月
- ◇最大デマンド値
 - 2011年5～10月：47kW
 - 2012年5～10月：40kW
- ◇使用電力量
 - 2011年5～10月合計：105,676kWh
 - 2012年5～10月合計：85,602kWh
 - 20,074kWh削減(19.0%削減)

「問合せ」

(株)テイダン(日本テクノ係)
東京都千代田区内神田1-4-13
CRC 北大手町ビル6F
TEL.03-3518-2866
FAX.03-3518-2867